



主催者インタビュー

「第26回日本国際工作機械見本市(JIMTOF 2012)」は初開催から50周年を迎える。米国と欧洲、中国と並ぶ世界の四大工作機械展示会であり、最新の製品・技術提案が注目される。工作機械メーカー各社は超円高

日本工作機械工業会会長 横山 元彦氏



や欧州の信用不安、中国の景気低迷に直面する中で、顧客に最新設備への更新を促す絶好の機会にする。日本工作機械工業会の横山元彦会長(ジェイクト会長)に聞いた。(名古屋編集委員・山中久仁昭)

最新技術世界へアピール

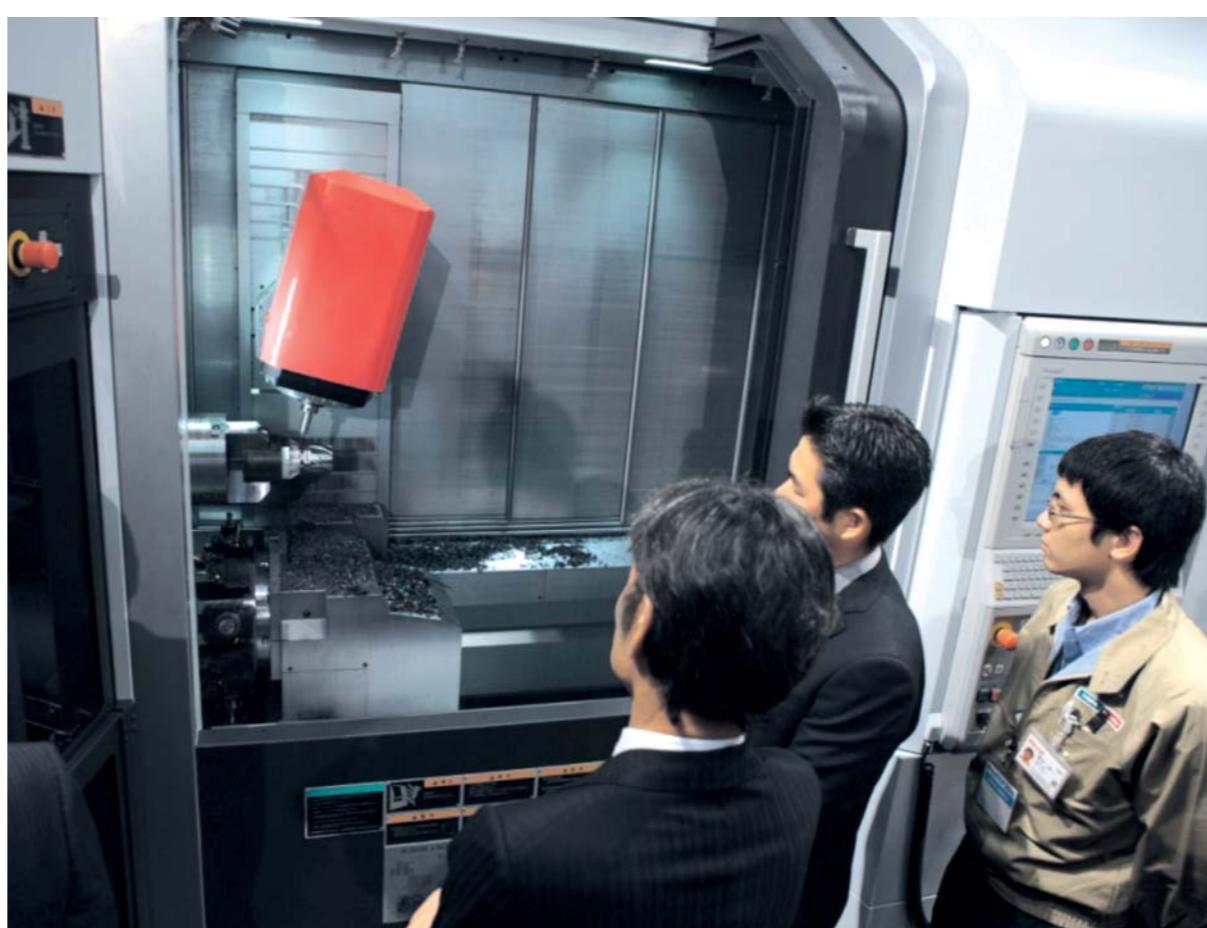
大阪で第1回を開いてから半世紀がたちます。日本の工作機械産業も様変わりしましたね。日本は1982年から08年まで27年連続して世界一の生産額を保持した。リーマン・ショックの影響を受けて09年には首位

モノづくり改革に一役

が長くなつた工作機械を更新してもらえるような動機付けをする。潜在的な動機は需要はあるても、景気が良くなるまで投資を先送りする傾向がみられる。顧客が抱える課題を解決し、生産性向上やモノづくり改革をお手伝いしたい。米国の工作機械見本市は堅調で、優れた機械が他の国に競争力を強くすると考え

が車・部品メーカーの13年3月期の設備投資額は当初、前期比クラスを計画していたが、投資の実施なしで新興国が増えたとして、工作機械が日本を支え、工作機械が日本を支え、その影響はJIMTOFに及ぼす影響は、工作機械は生産活動に

第26回日本国際工作機械見本市



工作機械の世界四大見本市の一つ「第26回日本国際工作機械見本市(JIMTOF 2012)」が1日、東京・有明の東京ビッグサイトで開幕する。高精度や高効率加工、省エネルギー、コスト削減など加工ニーズがより多様化し、厳しくなっている。こうした中、出展各社から最新の製品・技術が紹介される。進化するモノづくりを支える技術の祭典を体感できる。入場料は当日3000円、前売(事前登録)1000円。

生産性向上やモノづくり改革を実現する最新の技術を体験できる(2010年に開催された前回の工作機械見本市)

INDEX

2	JIMTOFの見どころ
3	日本工作機械工業会副会長あいさつ
4	工作機械業界の市場動向を探る
5	中堅・中小企業の設備導入事例
6.7.9	学界・教育界・工作機械ユーザーに聞く
10	工作機械とモノづくりの魅力
11	NC制御技術
12	切削加工のための残留応力
13	鏡面加工技術
14.15	超精密・微細切削加工技術
16	日本のモノづくりを支える熟練の技、CAMとマシンシミュレーション
17	

18.19	NC旋盤
20.21	セミドライ加工
22	レーザー加工
23	放電加工
24.25.26.27	マシニングセンター
28	プレス加工
29	計測・測定技術
30.31.32	研削加工技術
33.34	切削加工
35.36.37	切削工具
38.39	超精密位置決め技術
40	出展者ワークショッププログラム

LOKUMA

JIMTOF 2012 第26回日本国際工作機械見本市

2012年11月1日木～11月6日火 午前9:00～午後5:00まで

東京ビッグサイト オークマブース: 東6ホール E6039

インテリジェント・ソリューション Intelligent Solution セダブルアップ

～自動化・複合化技術に知能化技術で生産性アップ・創造力アップ～



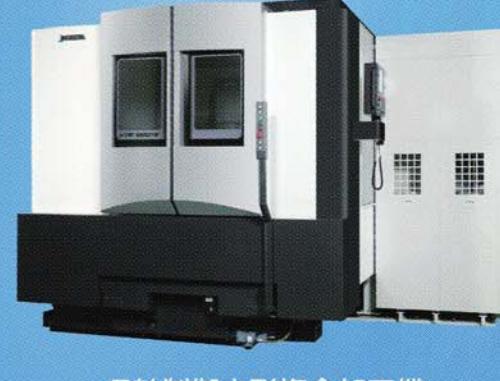
5軸制御立形マシニングセンタ
UNIVERSAL CENTER
MU-6300V



対向主軸ターニングセンタ
TWIN STAR
LT3000 EX



インテリジェント複合加工機
MULTUS B300II



5軸制御立形複合加工機
VTM-1200YB